

プログラム I

コロナ禍・物価高騰等からの宮崎再生

政策 1 県民の命や健康を守る地域医療・福祉の充実



【概要】

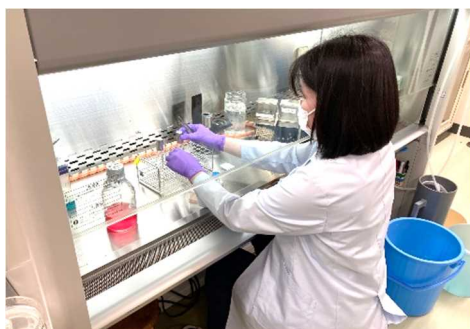
世界中で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は、本県の医療・介護提供体制の脆弱性を改めて浮き彫りにしました。今後は新型コロナへの対応を踏まえ、新たな感染症の発生を想定し対応力を強化するとともに、住み慣れた地域で医療・福祉サービスを受けることができ、安心して暮らすことができる体制を構築する必要があります。

このため、病床の確保や迅速な検査体制の構築といった医療提供体制・感染予防体制の充実等を進めるとともに、地域における在宅医療の推進やへき地医療の機能維持、医療・福祉人材の確保・育成等の取組を強化していきます。

重点項目 1 感染症への対応力の強化

【実施内容】

1	感染症に関する県民等への迅速かつ的確な情報提供
2	感染症指定医療機関等との連携強化等による病床の確保など医療提供体制の更なる充実
3	感染まん延時における迅速な検査体制の構築やワクチン接種体制の確保など感染予防体制の充実
4	保健師などの人員確保をはじめとする保健所機能の維持や感染症に対応できる人材の確保・育成
5	国・市町村・関係機関等と連携した感染症危機管理体制の強化や患者発生を想定した訓練の実施
6	医薬品や物資・資材の計画的かつ安定的な確保



重点項目2 地域における医療・介護提供体制の充実

【実施内容】

1	病床の機能分化・連携や地域における在宅医療の推進
2	遠隔診療・出張診察などへき地医療の機能維持やドクターヘリの運航支援など救急医療提供体制の確保
3	高度・急性期医療等の安定的提供に向けた県立病院の一層の機能強化
4	地域包括ケアシステム ¹ の推進

重点項目3 医療・福祉人材の確保・育成対策の強化

【実施内容】

1	医師修学資金・研修資金の貸与や地域枠の適正な設定による若手医師の確保・育成
2	医師の就労環境整備や勤務負担軽減等の取組推進
3	医師の配置調整を通じた若手医師のキャリア形成支援と医師の地域偏在の是正
4	看護師や介護福祉士等を対象とした修学資金の貸与による県内就職の促進
5	看護師や介護職員等に対する処遇改善や負担軽減・離職防止に向けた労働環境の整備促進
6	看護師の特定行為 ² 研修修了者・認定看護師 ³ の養成
7	潜在看護師・介護福祉士等の復職支援や外国人材の受入促進

【指標】

医療満足度

現況：44.2%（令和4年度）



目標：**58.0%**（令和8年度）

中山間地域における常勤医師充足率

現況：71.1%（令和4年度）



目標：**81.1%**（令和8年度）

看護職員数（常勤換算数）

現況：20,094人（令和2年末現在）



目標：**20,564人**（令和6年末現在）

介護職員数

現況：21,730人（令和3年度）



目標：**23,339人**（令和7年度）

¹ 地域包括ケアシステム：高齢者が介護や支援が必要な状態になっても、可能な限り住み慣れた地域で安心して生活を送ることができるように、医療・介護・予防・生活支援・住まいの5つのサービスを一体化して提供し、高齢者を地域全体で支えていく仕組み。

² 特定行為：診療の補助であり、看護師が手順書により行う場合には、実践的な判断力や高度で専門的な知識・技能等が特に必要とされる38の行為。

³ 認定看護師：特定の看護分野で、熟練した看護技術と知識を有する者として認定を受けた看護師。

政策2 県民生活・地域経済の早期回復



【概要】

長引くコロナ禍や令和4年の台風第14号、さらには国際情勢の不安定化に起因する原油価格・物価高騰などによって、県民の暮らしや地域経済は深刻な打撃を受けており、一刻も早く立て直し再び成長軌道に戻していく必要があります。

このため、生活困窮者やひきこもり、ヤングケアラーといった困難を抱える人への支援を充実するとともに、不安や悩みに対する相談体制の充実、自殺対策を支える人材の育成などに取り組みます。

また、コロナ禍で大きく落ち込んだ観光や宿泊、公共交通等について需要喚起を図るとともに、燃油・資材等高騰対策など、中小企業・小規模事業者の回復を支援します。

重点項目1 貧困や孤立など困難を抱える人への支援

【実施内容】

1	コロナ禍等による社会変容への適応に向けた課題の把握・分析
2	生活困窮者の自立相談支援体制の充実及びひきこもりサポーターの養成などひきこもりの方への支援
3	職業訓練や県内企業とのマッチングなどを活用した離職者の再就職支援
4	保護者の就労・経済的支援などひとり親家庭やヤングケアラーへの支援充実、子どもの貧困対策の強化
5	相談・支援体制の充実による児童虐待の未然防止、早期発見、早期対応

重点項目2 精神保健対策・自殺対策の強化

【実施内容】

1	社会情勢等により変化する不安や悩みに対する相談体制の充実
2	いのちを大切にする教育やSNSの活用など若年層対策の推進
3	ゲートキーパー ¹ など自殺対策を支える人材の育成や自殺未遂者・自死遺族への支援

¹ ゲートキーパー：悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人。

重点項目3 中小企業・小規模事業者の支援等による県内経済の回復

【実施内容】

1	旅行支援等による観光・宿泊・公共交通の需要喚起
2	飲食店・地元商店の利用促進など官民一体となった地産地消・応援消費の推進
3	燃油・資材等高騰対策



【指標】

生活保護世帯の子どもの
高等学校等進学率

現況：91.3%（令和3年度）



目標：94.0%（令和8年度）

自殺死亡率

（10万人当たり自殺者数）

現況：19.6人（令和3年）



目標：17.8人（令和8年）

県内総生産（名目）

現況：3兆7,219億円（令和元年度）



目標：3兆7千億円台（令和6年度）
（令和元年度の水準を維持）

政策3 魅力あふれる「観光みやざき」の創生



【概要】

新型コロナウイルス感染症への対応は規制から共生へと移行し、それに伴って、観光客をはじめとする人の流れはコロナ前に戻りつつあります。このような中、いかに差別化を図り、本県が選ばれる地域となるかが重要であり、本県の魅力を磨き、効果的に発信していく必要があります。

このため、G7宮崎農業大臣会合等の世界的なイベントを契機とする本県の特性を生かした観光プロモーションの実施や、国内外の観光客が快適に旅行できるソフト・ハード両面からの受入体制の強化等に取り組みます。

また、スポーツ施設・宿泊施設等の受入環境の充実やスポーツ合宿・大会の積極的な誘致、スポーツツーリズム¹の推進などにより、「スポーツランドみやざき」の更なるブランド力の向上を目指します。

重点項目1 「観光みやざき」の魅力発信と基盤づくり

【実施内容】

1	G7宮崎農業大臣会合や宮崎県人会世界大会 ² 等のイベント・レガシーの活用や世界農業遺産をはじめとする世界ブランド等の多彩な魅力の発信
2	5つのS（食・スポーツ・自然・森林・神話）等を生かした観光プロモーション
3	隣県等との連携による周遊ルートの形成や二次交通対策などソフト・ハード両面からの受入体制の強化
4	新たな体験メニューの開発・充実や新しい観光スタイルに対応した周遊・滞在型観光の推進
5	観光サービスの高付加価値化と地域の自然や伝統文化などに配慮した持続可能な観光への取組の推進
6	良好な景観の保全・創出・活用による「美しい宮崎づくり」の推進



¹ スポーツツーリズム：スポーツを見に行くための旅行やそれに伴う周辺観光、スポーツを支える人々との交流などスポーツに関わる様々な旅行。

² 宮崎県人会世界大会：国内外の宮崎県人会の活性化を図り、本県の更なるプロモーション展開の契機とするため、置県140年となる令和5年(2023年)に開催されるイベント。

重点項目2 外国人観光客の誘客強化とみやざきMICE¹の推進

【実施内容】

1	外国人観光客が快適に旅行できる受入環境の整備や効果的なデジタルプロモーションの実施
2	東アジアを重点地域とした誘客・リピーターの拡大と欧米豪や富裕層など新規市場の開拓
3	G7宮崎農業大臣会合を契機とした大規模MICEから企業研修などの小規模MICEまで多様なMICEの誘致・全県展開

重点項目3 国際水準のスポーツの聖地「スポーツランドみやざき」のブランド力向上

【実施内容】

1	国スポ・障スポに向けた各種競技会場の整備・改修
2	誰もがスポーツを楽しめるスポーツ施設・宿泊施設等の受入環境の充実
3	屋外型トレーニングセンター等を活用したスポーツ合宿・大会の積極的な誘致
4	サイクリング・サーフィン・ゴルフ等のスポーツツーリズムの推進



【指標】

観光入込客数

現況：1,013万人回（令和3年）



目標：1,650万人回（令和8年）

観光消費額

現況：1,051億円（令和3年）



目標：1,950億円（令和8年）

外国人延べ宿泊者数

現況：1万人泊（令和3年）



目標：36万人泊（令和8年）

県外からのキャンプ・合宿延べ参加者数

現況：12.9万人（令和3年度）



目標：25万人（令和8年度）

¹ MICE：Meeting（企業等の会議）、Incentive Travel（企業等の報奨・研修旅行）、Convention（国際会議等）、Exhibition/Event（展示会・イベント）の総称。